

オオアレチノギク (大荒地野菊)

名前の意味^{いみ}：大きなアレチノギクの意味。アレチは荒地で、何も生えていない空き地^{この}に好んで生えるキク科の植物だから。

分類：双子葉類、キク科、イズハハコ属

(キク科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、空き地

分布：本州、四国、九州

原産地：南米

特徴：地面を円くおおう、粗^{あら}いでこぼこのある葉、白い毛の生えた高い^{くき}茎、小さな毛^{たば}を束ねたようなたくさんの花

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数^{ごうべん}：合弁、5裂^{れつ} (たくさんの花が集まってひとつの花に見える。1つの花の形は小さくてよく見えない)

花の時期：6－9月

食べ方：食べない

見分け方：アレチノギクとは、花が少し小さくて多く咲くこと、夏に花が咲くこと、葉のギザギザ^{きよし} (鋸歯) が細かいこと、上で枝分かれしないことで区別できる。ヒメムカシヨモギとは、花に花びららしい花びらがないこと、葉の幅が少し広いことで区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)